

会 社 名 株式会社イーエムシステムズ
 代 表 者 名 代表取締役社長 國光 浩三
 (コード番号 4820 東証 第二部)
 問 合 せ 先 執行役員管理部長 宮城 孝誓
 (TEL 06-6397-1888)

業績予想（連結・単体）の再修正について

平成 17 年 9 月 8 日に修正しました平成 18 年 3 月期（平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）の中間業績予想を下記のとおり再修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 18 年 3 月期 中間連結業績予想数値の再修正（平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	中間純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	4,316	446	243
今 回 修 正 予 想 (B)	4,400	501	268
増 減 額 (B - A)	84	54	24
増 減 率 (%)	2.0 %	12.3 %	10.2 %
(ご参考) 前期実績(平成 17 年 3 月期中間)	3,402	87	54

2. 平成 18 年 3 月期 中間単体業績予想数値の再修正（平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	中間純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	3,262	416	227
今 回 修 正 予 想 (B)	3,365	479	256
増 減 額 (B - A)	102	63	29
増 減 率 (%)	3.1 %	15.2 %	13.0 %
(ご参考) 前期実績(平成 17 年 3 月期中間)	2,531	59	37

3. 修正理由

平成 16 年 11 月より販売しております服薬指導支援システム「N a v i t y」に、市場の注目度が今まで以上に集まり、「N a v i t y」が「R e c e p t y」のオプションシステムとして商品力を発揮し、当初見込んでおりました需要を上回り、販売件数の増加に繋がりました。また、商品力、営業力の向上により、直接販売のシェアが増加しております。このような状況が売上高、経常利益、純利益に寄与し、平成 17 年 9 月 8 日に開示しました中間業績予想を、さらに上回る見込みとなりました。また、単体決算の中間業績予想の再修正に伴い、連結決算の中間業績予想も再修正いたします。

なお、通期の業績予想につきましては現在見直し作業を行っており、決定次第公表いたします。

(注) 本資料における業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想にはさまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以 上